ハイCP-シリーズの最上位モデル ディテールが徹底で厚い再現性

――――

マルチックがハイエンドサウンドで定評のあるエントリーモデルである、ハイCP-シリーズには3種のラインケーブルがラインアップされているが、その中の最上位モデル。導体には純度の徹底管理＆プロセッシングを施したOFCが使用されている。これをレ／R各3本の撚線という太口径の芯線にチューンし、金属ガスチャンで絶縁している。その上に極細エバーバーラップで被覆し、＋導体の編組でシールドするという構造である。プラグには同社製のハイグレードゴールド・ーーーII（G）を採用している。

従来に比べてレスポンスが速くなった様で、ナチュラルな質感を持っている。オーケストラなどでは厚みの保たれたウルチックらしい印象を引き出しているが、アカペラやピアノではディテールが徹底でまた厚い。音のエッジに高い密度を持つ印象で、ヒットに優れた仕上がりである。

オーディオケーブル部門（2.5万円以下）

ADL

Alpha Line PLUS

¥24,250（1mペア）

SPEC ●導体：純度99.9999%OFC ●構造：2芯シールド ●絶縁材：伝送スピードの速い物理的2チャンネル ●RCAプラグ：FP-110（G）／（センターピン：Au-OFC導体＋24K金メッキ）●取り回しやすいフルチック（株）